



クロス・レター

第 54 号

旭川赤十字病院広報委員会 発行

“低線量肺へリカルCT健診”

のご案内

金額 16,500円

こんな方におすすめします!!

- 40歳以上（特に50歳以上）の方
- 受動喫煙を受けている方
- 有害物質（アスベスト等）を扱っている方や過去に扱っていた方
- せき、たんが出やすい方
- 喫煙指数400以上の方

20歳から喫煙者(55歳)

※1日12本 35年

【 $12 \times 35 = 420$ 】

喫煙指数 **420** (°D°)

【喫煙指数とは】

1日に吸うタバコの本数×年数で計算できます。この指数が大きくなるほど肺がんのリスクが高くなります。この指数が400以上で肺がんのリスクが上がり、700以上では慢性閉塞性肺(COPD)のみならず咽頭がんや肺がんのリスクが数十倍あがるという報告があります。



予約に関するお問い合わせ **健診センター**(21番)

☎0166-76-9296 ※オプションの追加は前日の12:00まで

がん死亡者数第1位 肺がんは早期発見が大事

肺がんは罹患数の増加とともに死亡数も年々増加しています。1998年に胃がんを抜いて肺がんが死亡率1位になりました。2020年には男性約5万3200人、女性で約2万2300人が亡くなっています。

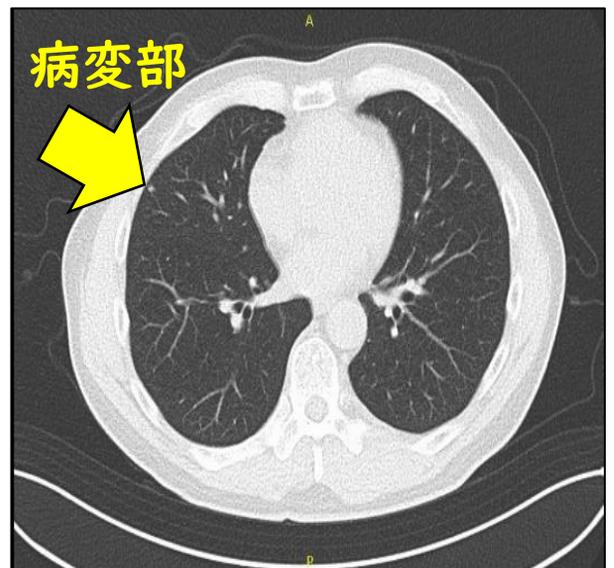
生存率は肺がんの病期（ステージ）や種類によって異なりますが、小細胞がん、非小細胞がんともに早期に発見され、診断・治療を開始した方の生存率が高いことが分かっています。

低線量肺ヘリカルCTとは

肺がんCT検診では胸部単純X線写真と比較してより小さく、より早期に発見できる

ことが国内外の研究で報告されています。当院の肺がんCT検診は従来のCT検査と比較して被ばく線量を数十分の一程度に低く抑えているため、体への影響が少なくなっています。

検査は約5分間で台に寝てアナウンスに合わせて息を止めるだけです。



【地域の皆様へ】

当院は地域と連携し救急患者を夜間、休日または深夜を含む24時間診療することのできる体制を整えております。担当医師は正面玄関掲示にてご確認下さい。